

平成 28 年 4 月 28 日

熊本地震に対する災害特別本部の設置に関して

一般社団法人 構造調査コンサルティング協会
会長 秋 山 友 昭

4 月 14 日、16 日に発生した熊本地震(前震・本震)により、熊本地方阿蘇地方及び大分県で死傷者を合わせると 1,100 人、避難者は最多で 18 万 3800 人を超える被害が生じました。

犠牲者の方々に対しまして心より哀悼の意を表すとともに、罹災された多くの方々にご心よりお見舞いを申し上げます。

今回の地震は、前震が 4 月 14 日 21 時 26 分頃マグニチュード 6.5(暫定値)最大震度 7 が観測され、本震は 4 月 16 日 1 時 25 分頃マグニチュード 7.3(暫定値)再び最大震度 7 という今まで経験したことのない地震形態です。前震からの余震回数が 27 日 15 時までに 950 回を超えています。この為、気象庁は地震の誘発を危惧し終息宣言を行っていません。

このような被害に対して、私たちの協会としても復旧に何らかのお役に立ちたいと考え、協会の規約に沿う形で、災害特別本部を立ち上げました。

現在のところ、交通宿泊手段や食糧補給の確保の観点から、すぐに被災地へ立ち入ることは無理があるため、情報の収集に努めることとし、また国交省や学協会との連絡を密にして、要望があった場合に、早急に対応できるように体制を整えたいと考えております。

その際には、社会貢献活動の趣旨をご理解の上、会員各社には是非ご協力をお願い申し上げます。

協会事務局に義援金の募金箱を設置し、会員の皆様にご協力をお願いしております。集まった義援金は、日本赤十字社を通して熊本へ寄付することと致します。

以上